

相続等の届出書
記載例

様式例第3号の1

農地法第3条の3の規定による届出書

令和 年 月 日

田尻町農業委員会会長 様

住所 泉南郡田尻町嘉祥寺375-1

氏名 田尻 太郎

電話 072-466-XXXX

下記農地（採草放牧地）について、相続により所有権を取得したので、農地法第3条の3の規定により届け出ます。

記

1 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。）

ふり 氏	がな 名	住 所	国籍等	在留資格又は 特別永住者
			日本	—

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地 目		面積(m ²)	備 考
	登記簿	現況		
吉見〇〇番	田	田	580	
嘉祥寺〇〇番1	田	田	855	

3 権利を取得した日

令和 7 年 7 月 10 日

4 権利を取得した事由

田尻一郎の死亡により取得

5 取得した権利の種類及び内容

所有権

現在、利用権を設定しており、引き続き耕作してもらう予定です。

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無（いずれかに○）

有

・ 無

（裏面に続く）

7 農地の権利者が複数の場合の代表者の連絡先及び氏名等（いずれかに○）

・届出人

・その他 . . . (住所)

(氏名)

(電話)

(記載要領)

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 2 届出者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 3 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 4 国籍等は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の45に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあっては在留資格、特別永住者にあってはその旨を併せて記載してください。法人にあっては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
- 5 記2の記入欄が不足する場合は、別紙に記載のうえ添付してください。
- 6 記2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。また、所有権以外の権利（賃借権等）の種類や権利の一部を取得した場合は、その内容を記載してください。
- 7 記4の「権利を取得した事由」には、相続（遺産分割及び包括遺贈を含む）、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
- 8 記5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定（見込み）の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。
- 9 記6の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載してください。

参 考

（農地又は採草放牧地についての権利取得の届出）

第三条の三 農地又は採草放牧地について第三条第一項本文に掲げる権利を取得した者は、同項の許可を受けてこれらの権利を取得した場合、同項各号（第十二号及び第十六号を除く。）のいずれかに該当する場合その他農林水産省令で定める場合を除き、遅滞なく、農林水産省令で定めるところにより、その農地又は採草放牧地の存する市町村の農業委員会にその旨を届け出なければならない。